



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2023-24 クラブテーマ **気づき、ひらめき、ひろげよう**



2023. 12. 18

「夜例会:忘年家族会」

No.2472 No.20



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会 長

熊倉 高志

皆さんこんばんは。本日の「忘年家族会」を設営いただいた親睦委員会の皆さん大変ご苦労様です。また急な雪の天気にもなりましたが多くの出席ありがとうございます。

会員の奥様、お子様、お孫さん等もおられるのでどんな“気づき”をお話ししようかと思いましたが、今日は日本人と西洋人の違いについてファッションの観点から考えてみたいと思います。

ファッションという思い浮かぶ国は、フランスですか、イタリアですか。一般的に美しさはプロポーションやカラーリング他、様々な要素で成り立っていると思いますが、日本人は全般的に美しさの創造力に自信のない人が多いようです。デザインの勉強でもいつも欧米を意識して、彼らにお手本を求める風潮が強いと思います。洋服やインテリアでもやはり欧米はおしゃれですね。何故でしょう。私なりに原因を考えてみると、ぱっと見て日本人はモノクロなのに、西洋人はカラーに富んでいます。近年はともかく、長い間、ほぼ日本人以外の混血がないがゆえに、私たちの目と髪の色は、ほぼ黒であるという差し支えないように思います。肌の色も大きな違いはありません。それに対し、西洋は様々な民族が入り混じり、目の色はブルーからグレー、ブラウン、髪の色も栗毛、赤毛、金髪等多様です。

さて、皆さんは生まれた子供たちへのプレゼントの色に困ったことはありませんか。男の子はブルー、女の子はピンク、そんな話も聞きますが、でも西洋は違うようです。子供たちは両親とはまた違った色の目や髪の色となることも多いことから、両親をはじめ、周りの人たちはその子にあった色の洋服や持ち物に気を配るのです。

個人から家族そして社会へとその色に対する一種の教育は日本人にはあまり経験できないことだと思います。このような訓練？をずっとしてきている彼らのセンスは並々ならぬことはお判りいただけたでしょうか。この辺を意識することで私たちの感性のレベルアップに必要なものへとつながれたらと考えます。因みにこの問題は個人・個性を尊重するキリスト教といった宗教も絡んでいるようです。

また、日本人は自分たちがモノクロであるがゆえに、四季折々の自然の色合いや濃淡、光と影といったものにもその意味を探究する独自の文化を持ち合わせていることも大切なことと思います。是非、参考にしてください。

◆本日の会場：ジオ・ワールドVIP ザ・スクエア

◆本日の出席：40名中27名

◆本年度通算出席率：84.15%

◆ゲスト：大湊明子さん、田代恵美子さん、広岡頼子さん、西巻寧紅さん、石山遥人さん、石山愛菜さん、木村久美子さん、木村空詩さん、木村亮詠さん、関久美子さん、関優市さん、米山奨学生ファンティチュナンさん

◆アトラクション：鍵盤演奏 佐藤瑠美さん

ニコニコボックス

12/18 27,000円 本年度累計 312,000円

熊倉会長「雪の忘年家族会となりました。素敵な夜になりますように」

吉沢幹事「メリークリスマス！ 楽しみましょう！」

西巻さん「今夜は楽しい夜になりますように」

松崎さん「メリークリスマス！ 1年間ありがとうございました。来年も良い年でありますように」

木村さん「本日はクリスマス例会を楽しみにやってきました。よろしくお願いします」

石山さん「メリークリスマスです。子供たちもよろしくお願い致します」

加藤(一)さん「本日は忘年家族会、皆さん楽しみましょう」

田代さん「親睦委員会の皆様、本日の設営ありがとうございます」

丸山さん「雪のクリスマスパーティーになりました。急に寒くなりました。皆様ご愛ください」

西潟さん「本日は楽しいクリスマスパーティーになることを願っています。来年は極力経済的かつ災害も含めリスクのないことを祈っています」

渡辺(和)さん「いよいよ雪のはじまりですね。きょうの忘年会楽しみにしています」

田中さん、布施さん「忘年会、クリスマス会、楽しみです」

太田さん、榎本さん「メリークリスマスです」

中村さん、桑原さん「本日はよろしくお願いします」

大湊さん、坂井さん、銅冶さん、平松さん、永桶さん

関さん、塩入さん、峰嶋さん、藤田さん「BOXに協力します」

永井さん「BOXにご協力ありがとうございました」



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR. マッキナリー (スコットランド)

第2560地区ガバナー 米山 忠俊 (三条北)

第4分区分ガバナー補佐 小出 和子 (三条東)

会 長

幹 事

SAA

熊倉 高志

吉沢 栄一

田中 康之

事務局

〒955-8666 三条市町2-5-10

三条信用金庫本店内

TEL 0256-35-3477

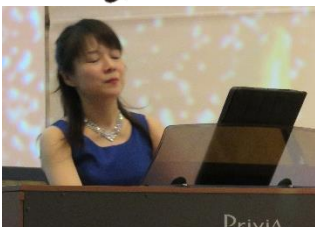
FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL https://www.sanjo-minami.jp



ちのくニ桑南クラブ 忘年家族会へ！





1月のお祝い

◆会員誕生

平松修之さん
関 博市さん
草野恒輔さん
西尾精一さん
永井篤利さん

◆配偶者誕生

荒瀬政子威彦さんご夫人
長谷美津明さんご夫人
星野敏健司さんご夫人

おめでとうございます



次週予定

1/22 (月) 通常例会 卓話

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。



ウインターフェスティバルの御礼が届きました

12月6日、市立大崎学園を永桶俊一社会奉仕委員長が訪問し、特別支援学級児童生徒さんと「サンタさん」として交流しました。そのお礼の手紙がたくさん届いていますので、受付でご覧ください。

「プレゼントを運んでくれてありがとうございました」「大切に使います」「プレゼントを使ってお菓子をつくりました」「だるまさんが転んだゲームが楽しかった」「また来てね」「12月24日におうちに来てください」「プレゼントくばり、がんばってください」「実はわたしは12月24日に家族にプレゼントをします」……

同活動は、以前は市内各校の児童生徒が集合して行なっていましたが、ここ数年は感染症対策のために学校訪問の形で継続しています。ロータリー、ライオンズの各クラブ等が支援しています。

家庭や学校以外の人と交流すること、うれしい気持ちや御礼の気持ちを表すこと、お手紙を書く練習など、たくさんの学習成果があるとのことでした。

支援金で先生が選定した遊具や知育学習用具を購入し、サンタさんからのプレゼントとして児童生徒に手渡しています。

